

カセットプレーヤー

取扱説明書+保証書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



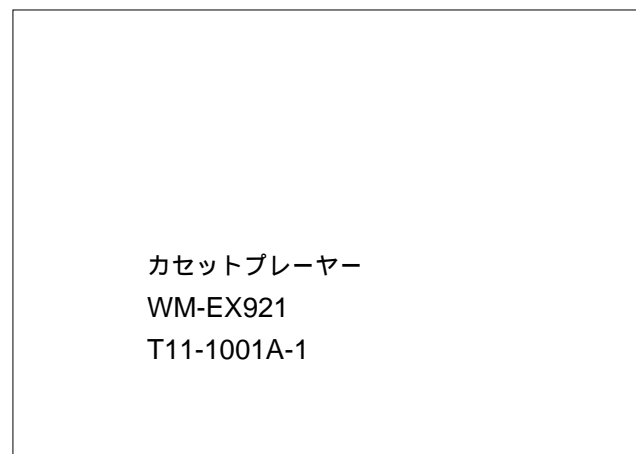
WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。

WM-EX921

Sony Corporation ©2001 Printed in Malaysia



VOC(揮発性有機化合物)がゼロ
物質インキを使用しています。

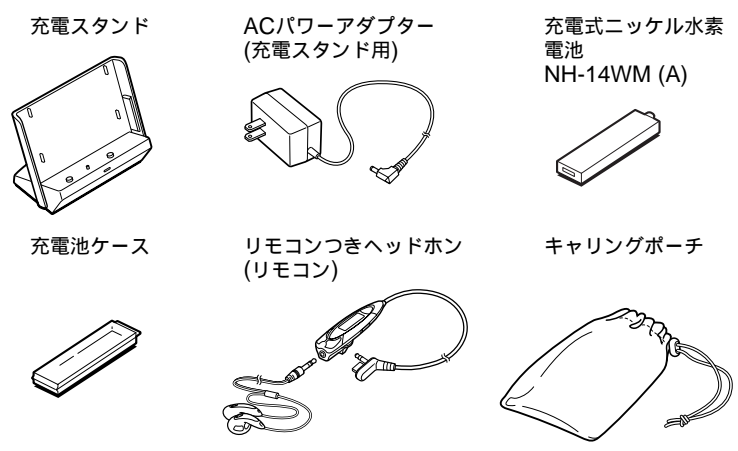


カセットプレーヤー
WM-EX921
T11-1001A-1

主な特長

- テープに合わせて選べる3種類の音質、リバイブ、MEGA BASS、GROOVE。
- 本体で簡単に操作できるジョグレバー。
- 充電式電池のみで約45時間再生ができる、スタミナタイプ。
- 語学学習にも便利な「キュー&レビュー」。
- 携帯電話感覚で手軽に充電できる充電スタンド。
- 16倍速の高速サーチで、前後9曲の頭出しをするAMS。
- お気に入りの曲を繰り返し聞ける1曲リピート。
- 使いやすいバックライト付き液晶リモコン。

付属品を確認する



取扱説明書+保証書 ソニーご相談窓口のご案内
当製品には乾電池ケース(単3用)は付属されていません。

安全のために



- 充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。
- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電電池ケースに入れてください。ケースに入らずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の+・- がショートし、発熱することがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも具合の悪いときはサービスへ

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

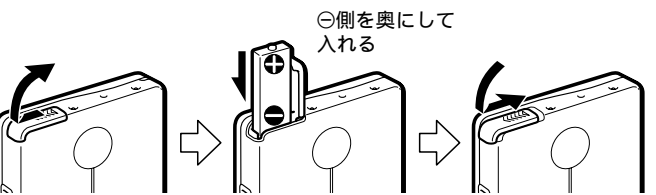
保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。部品の保有期間について

当社ではカセットプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

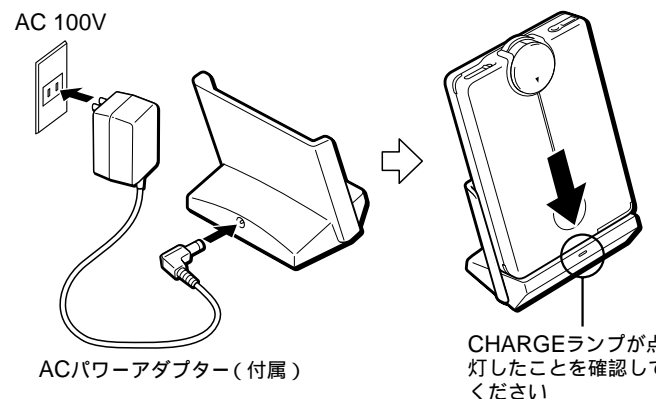
準備する

お買い上げ時には、充電式電池をまず充電してください。

1 充電式電池を本体に入れる



2 充電する

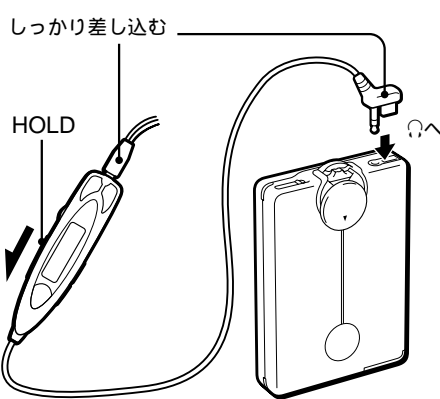


約30分間充電すると約3時間使えます。約6時間で充電が完了し、ランプが消えます。

! 充電中は使用しないでください。ご使用になるときは充電スタンドからはずしてください。

- 充電スタンドにのせたまま操作をすると充電式電池が充電されません。
- 充電スタンドにのせたまま操作をすると正しく動作しない場合があります。
- 本体に充電式電池を入れずに充電スタンドにのせないでください。正しく動作しない場合があります。

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

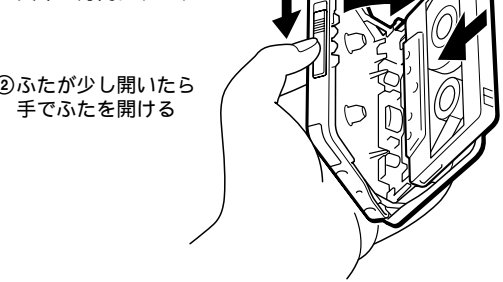


テープを聞く

TYPE I(ノーマル) TYPE II(ハイポジション) TYPE IV(メタル)のテープを自動的に判別し、再生します(オートテープセレクト機能)。

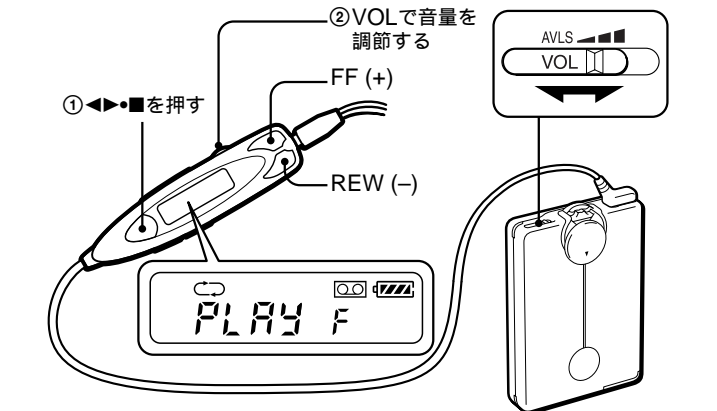
1 カセットを入れる

① OPENつまみを矢印の方向にずらす



- ② テープのたるみを取ってからテープ側を奥にして奥まで確実に入れる
- ③ ふたを閉める

2 再生する



音量調節について
本体のVOLつまみは、3段階に調節できます。通常は中央の位置に合わせて、微調整はリモコンのVOLつまみを回して行ってください。
録音レベルが小さいテープを聞くときは本体のVOLを大(右)に合わせます。また、本体のVOLを小(左)に合わせるとAVLSが働きます。詳しくは「音もれを抑え耳にやさしい音にする」をご覧ください。なお、音量は完全にしぼり切れることはできません。

本体で操作するには
ジョグレバーで操作します。ジョグレバーが隠れているときは、ホールドシャッターを矢印の方向にずらして開けてください。



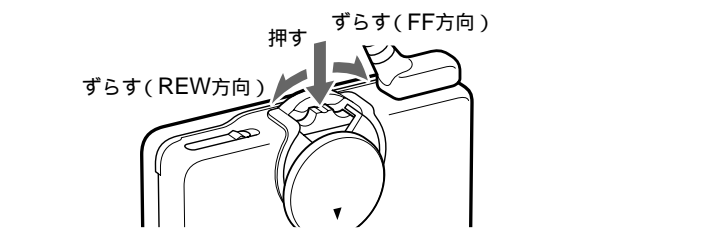
▼の方向にずらして開ける

その他のテープ操作

操作	押すボタン	動作の確認音(リモコン表示)
再生面の切り換え	再生中に◀▶を1秒以上	ふた側(FWD)の面スタート: ビ(「F」) 本体側(REV)の面スタート: ビビ(「R」)
停止	再生中に◀▶を1回	ビ
早送り/巻き戻し*	停止中にFF/REW	ビ(「FF」/「REW」が点灯)
音を聞きながら早送りする(キュー)	再生中にFFを押し続ける。	ビ(「FF」/「REW」が点滅) ボタンから手を離すとビ再生に戻る
音を聞きながら巻き戻す(レビュー)	再生中にREWを押し続ける。	ビ再生に戻る
早送りして反対面を再生(スキップリバース)	停止中にFFを2秒以上押し続ける。	ビ ビ ビ、ビ、... (「FF」が点滅)
巻き戻して最初から再生(オートプレイ)	停止中にREWを2秒以上押し続ける。	ビ ビ ビビ、ビビ、... (「REW」が点滅)

* 早送り、巻き戻し中に◀▶ボタンを押すと再生状態になります。

本体で操作するには
ジョグレバーで操作します。



操作	ジョグレバー	動作の確認音
再生面の切り換え	再生中に1秒以上押す。	ふた側(FWD)の面スタート: ビ 本体側(REV)の面スタート: ビビ
停止	再生中に1回押す。	ビ
早送り/巻き戻し*	停止中に▶▶/◀◀の方向に1回ずらす。	ビ
音を聞きながら早送りする(キュー)	再生中に▶▶の方向にずらしたままにする。	ボタンから手を離すとビ再生に戻る
音を聞きながら巻き戻す(レビュー)	再生中に◀◀の方向にずらしたままにする。	ビ ビ ビビ、ビビ、...
早送りして反対面を再生(スキップリバース)	停止中に▶▶の方向に2秒以上ずらしたままにする。	ビ ビ ビビ、ビビ、...
巻き戻して最初から再生(オートプレイ)	停止中に◀◀の方向に2秒以上ずらしたままにする。	ビ ビ ビビ、ビビ、...

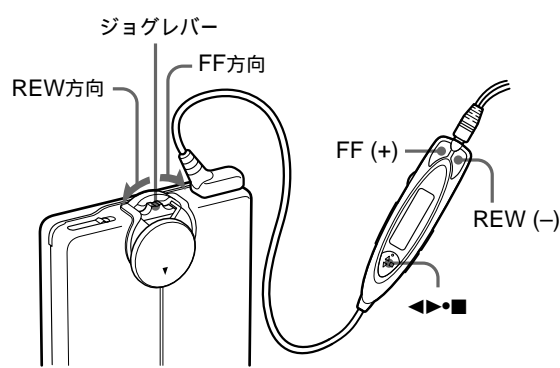
* 早送り、巻き戻し中にジョグレバーを押すと再生状態になります。

上記以外のテープ操作は、「テープを聞く・応用」をご覧ください。

! カセットふたを開けるとは、テープが停止していることを確認してください。動作中にカセットふたを開けるとテープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。

▶テープを聞く・応用

いろいろな聞きかたをする



□ 好きな曲を頭出しする(AMS—オートミュージックセンサー)

最大9曲までとばすことができます。

早送りして何曲か先の曲を再生するには
リモコン: 再生中にFFをとばしたい曲数回押す。
本体: 再生中にジョグレバーを▶▶の方向にとばしたい曲数回ずらす。「ビ」と言う確認音のあと、早送りされ、あと1曲になると「ビッピー、ビッピー、...」と鳴ります。

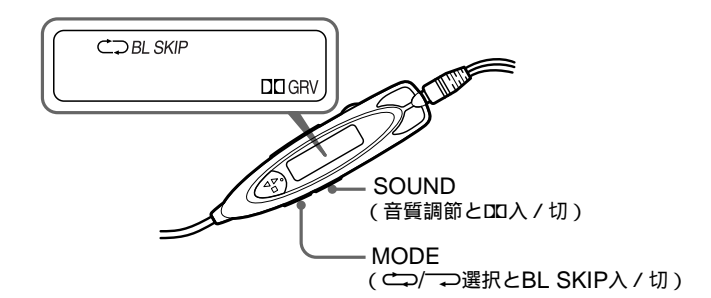
巻き戻して何曲か前の曲を再生するには
リモコン: 再生中にREWを戻したい曲数回押す。
本体: 再生中にジョグレバーを◀◀の方向に戻したい曲数回ずらす。「ビ」と言う確認音のあと、巻き戻され、あと1曲になると「ビビッピー、ビビッピー、...」と鳴ります。

□ 聞いている曲を繰り返し再生する(1曲リピート)

1曲リピートを始めるには
リモコン: 再生中に◀▶をすばやく2回押す。
本体: 再生中にジョグレバーをすばやく2回押す。「ビビービ」と言う確認音のあと、リモコン表示窓に「REP」が点灯します。巻き戻し中は「ビビービ」が繰り返し鳴ります。(「REP」は点滅)

1曲リピートを解除するには
リモコンの◀▶または本体のジョグレバーを1回押す。

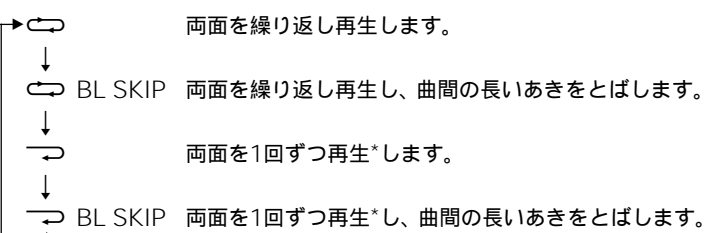
AMS、1曲リピートが正しく動作しないことがあります
AMSや1曲リピート機能では曲間の4秒以上のあき(無音部分)を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後にボタンを押したときは、頭出しができないことがあります。また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。
AMSや1曲リピート中に頭出しができないことがあります。故障ではありません。詳しくは「故障かな?」をご覧ください。



□ テープ走行のしかたを選ぶ(テープの走行方法とブランクスキップ)

テープの走行方法(◀または▶)と、ブランクスキップ機能の入/切ができます。
ブランクスキップ機能が働いているときは(「BL SKIP」点灯) 曲間の長いあきをとばして次の曲の頭出しをします。

リモコンのMODEボタンを押して、走行方法を選びます。



* 本体側の面から始めたときは、本体側の面のみを再生します。

ブランクスキップが正しく動作しないことがあります
ブランクスキップでは曲間に12秒以上のあきを見つけると、早送りして次の曲を再生しています。録音した機器によっては曲間のあきが完全な無音部分にならないために、ブランクスキップが動作しないことがあります。また、小さい音が長く続く部分があると、曲の途中でも早送りすることがあります。その場合は、MODEボタンを押し、ブランクスキップを解除してください。
ブランクスキップ中に、無音部分で再生を始めることがあります。故障ではありません。詳しくは「故障かな?」をご覧ください。

□ ドルビー* B NRで録音したテープを聞く

DLマークが点灯するまでリモコンのSOUNDボタンを押したままにします。録音の特性にあわせた再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音したテープの場合にはDLが消灯するまでSOUNDボタンを押したままにします。

* ドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラポラトリーズの商標です。

□ 好みの音に調節する

リモコンのSOUNDボタンを繰り返し押します。押すごとに表示が次のように切り換わります。

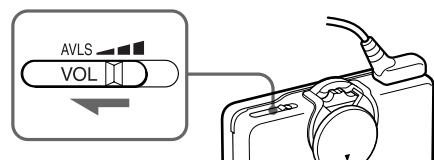
表示	音質
表示なし	通常の音質
RV	REVIVE(リバイブ): 高音を強調(古いテープなど高音にメリハリがないテープを再生するとき)
MB	MEGA BASS(メガベース): 低音を強調
GRV	GROOVE(グループ): 低音をより強調

GROOVEにしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、本体の音量を下げるか、他の音質を選んでお聞きください。

テープ走行方法、ブランクスキップ、ドルビーB NR、音質の設定は電池を交換するまで記憶されています。電池を交換すると解除されます。

ご注意
早送り、巻き戻し中はMODEボタンとSOUNDボタンは使えません。

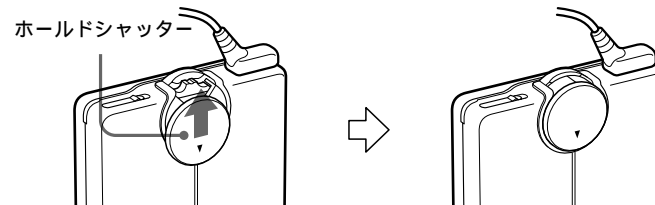
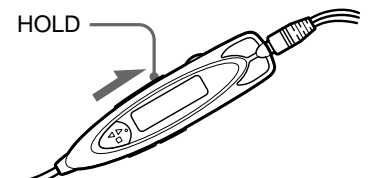
音もれを抑え耳にやさしい音にする(AVLS-オート・ボリューム・リミッター・システム-快適音量)



本体のVOLつまみをAVLS(音量小)に合わせます。

AVLSを解除するには
本体のVOLつまみを中央または音量大の位置に合わせます。

誤操作を防ぐ(ホールド機能)



リモコンではHOLDスイッチを矢印の方向にずらしてリモコンの誤操作を防ぎます。
本体では、ホールドシャッターを図のようにずらして閉め、本体の誤操作を防ぎます。

